

# 表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング

## 概要

マイコン制御設計／パソコン制御設計（各種制御含む）の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信手順の設計やデータ収録システムの開発実習を通じて、表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング習得します。

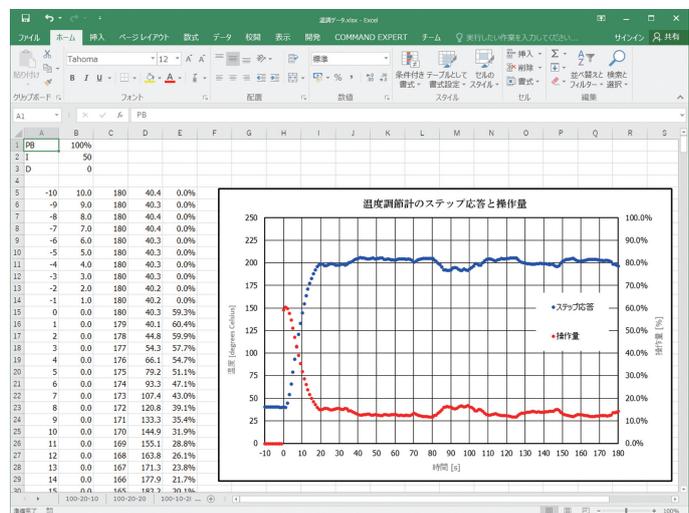
## 対象者

制御システム開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料(税込)
<b>4D042</b>	8/6(火)、8/7(水)	9:00～16:00	2日	12H	10人	9,000円

## 内 容

- コース概要及び留意事項
  - コースの目的
  - 専門的能力の現状確認
  - 安全上の留意事項
- シリアル通信の概要
  - シリアル通信のデータフォーマットと電気的特性
  - 通信データ解析実習
- 表計算ソフトプログラミング
  - データ蓄積処理の定義
  - 操作画面の作成
- 通信処理プログラミング
  - シリアル通信の初期化
  - 制御コマンドとデータの送受信
  - 通信手順
- データ収録システム開発実習
  - データの受信と蓄積
  - 蓄積データの集計とグラフ描画
  - データ収録システムの開発実習
- まとめ
  - 実習の全体的な講評及び確認・評価



UARTによって取得したデータをグラフ化した例

**使用機器** 表計算ソフト、パソコン一式、通信ケーブル

**使用テキスト** 自作テキスト

**受講者持参品** 筆記用具、データ持帰り用USBメモリ

**講師** 北陸職業能力開発大学校 講師

## ステップアップ

**受講者の声** 通信に関して設定するだけだったのが、設定の内容を聞くことができた。

**事業主の声** 金型の各所の温度を同時に測定する際に使用できる。